

大人の方へ 風しん予防接種の費用を一部助成します

現在、首都圏や近畿地方では大人の風しんが流行しています。

風しんは妊婦、特に妊娠初期の女性がかかると、お腹の中の赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気があるなど「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがありますので注意が必要です。

津別町ではこの「先天性風しん症候群」を防ぐために、風しん予防接種の費用を一部助成いたします。なお、事前に風しん抗体検査（血液検査・無料）を受けて、抗体が不十分な方のみ予防接種となります。

抗体が十分な場合は、風しんにかかる可能性がたいへん低いので、予防接種は必要ありません。

「風しんワクチン」は全国的に品薄のため、「麻しん風しん混合ワクチン」を使用いたします。

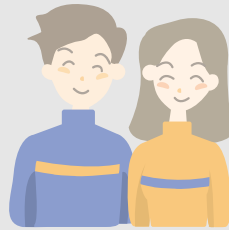
①助成対象者

津別町に住民登録をしている方で次に該当する方

- 1) 将来、妊娠を希望する19～49歳までの女性（抗体検査日に該当する）
- 2) 現在妊娠している女性の夫（赤ちゃんの父親）

事前に風しん抗体検査（血液検査・無料）を実施し、抗体が不十分な方が予防接種となります。

現在、妊娠中の方は接種できません。また接種後2か月間は避妊が必要です。



②自己負担額

事前の風しん抗体検査は無料
予防接種をした場合には2,000円

③指定病院

丸玉産業株式会社 津別病院
☎ 76 - 2121

④接種までの流れ

- 1) 上記①の助成対象者は、病院へ直接電話予約をします。
- 2) 予約日に病院で抗体検査（血液検査）を行います。無料です。
- 3) 病院の指定日に結果を聞きに受診します。
- 4) 医師から結果を聞きます。抗体が不十分な場合には、その日に予防接種をします。
- 5) 予防接種をした場合には2,000円を病院に支払います。

⑤持ち物

- 1) 健康保険証
- 2) 妊婦の夫に該当する方は、母子手帳
- 3) 自己負担額2,000円（抗体検査日は必要ありません）

⑥払い戻し（償還払い）

平成25年4月1日～9月30日までに、全額自己負担で接種した風しん、および麻しん風しん予防接種の費用を払い戻し（償還払い）いたします。

手続き場所：保健福祉課 健康医療グループ10番窓口
持ち物：接種した時の領収書、印鑑、ご本人名義の通帳

問い合わせ先 保健福祉課 健康医療グループ 保健師 ☎76 - 2151（内線332）



特定公共賃貸住宅『たつみ第3団地』 1LDK（単身者向け）完成は10月

達美に建設中の特定公共賃貸住宅（特公賃住宅）たつみ第3団地が10月下旬に完成します。
今月号では、新たに完成するたつみ第3団地1棟6戸についてお知らせします。

建設場所と戸数

たつみ第3団地は、ケアハウス向いに、平成14年度に完成した特公賃住宅単身者向けに隣接して、1棟6戸1LDK（床面積約57㎡）が建設されます。構造は2階建（メゾネットタイプ）です。

住宅設備

設備は、電気温水器、キッチン、ユニットバス、洗面化粧台、水洗トイレのほか、ポーチ、玄関、台所、トイレ、階段の照明などです。暖房はFF石油暖房機、調理器具はIHクッキングヒーターが備え付けられています。テレビは共聴設備（地上波・BS対

入居対象者

応）なので、個人のアンテナは必要ありません。

入居対象者は、一般公募の単身者で、50歳未満の方になります。所得（年間）は189万6千円以上310万8千円以下の方になります。ただし、所得が基準に満たない場合であっても、今後所得の上昇が見込まれる方は入居可能です。

家賃、入居費用

家賃は、3万円になります。そのほか、共益費として月額400円、駐車場使用料として1台当たり月額300円が

公募は10月上旬

完成は10月下旬ですが、公募は完成に先立ち10月上旬に開始します。募集については、今月号折込チラシをご覧ください。

問い合わせ先
建設課 水道住宅グループ
☎76-2151（内線252）



工事中の室内（居間から玄関を見る）

かかります。また、入居時には敷金として、3ヶ月分の家賃に相当する金額の納入も必要になります。